

採択大学：長崎大学（強化を図る機能：①、②）

連携大学：宮崎大学、鹿児島大学 参画機関：大阪公立大学、北海道大学、東京大学、国立感染症研究所、国立国際医療研究センター、海洋研究開発機構（JAMSTEC）

取組内容の概要



for
planetary health.
nagasaki university

〈10年後の大学ビジョン〉

プラネタリーヘルスの実現を目指し、世界を牽引する大学へ

— グローバルな課題解決のためのイノベーションを生み出す大学経営改革 —

長崎大学は、人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群に取り組む **超領域型融合研究** を推進し、科学的知見に基づく解決策を見出し、その社会実装を進める総合知人材を育て、**プラネタリーヘルスの実現** を牽引する

*地球温暖化や水資源・食糧問題・パンデミックの発生等の地球上の問題を解決するため人間の意識・行動・価値観の変容を促す新規概念であり、地球の健康を支えるための答えを探索する取組み。

特色ある研究領域と大学の強み

- ① 感染症研究を中心としたグローバルヘルス領域（BSL4研究施設、ロンドン大学とのJoint PhD Degree Program）
- ② 原発事故・核兵器廃絶に取り組むグローバルリスク領域（福島復興支援事業を含む）
- ③ COI-NEXTブルーエコノミーを展開するグローバルエコロジー領域
- ④ 駐在型海外拠点（ケニア・ベトナム・ブラジル）
- ⑤ プラネタリーヘルス学環：Doctor of Public Healthを世界に輩出（外務省、厚生労働省、JICA、NCGM・NIIDとの強い連携）

研究力向上の戦略概要

- ① 持続的イノベーションを生み出す経営基盤強化
- ② 長崎・宮崎・鹿児島・西南九州3大学連携を起点とした国際ネットワークの形成と国際共同研究推進
- ③ グローバル研究推進体制の強化と支援人員増強
- ④ 大学院生および若手研究者確保のための支援体制、研究環境の整備
- ⑤ 国際共同研究強化のための海外拠点の増設と機能強化
- ⑥ 3領域に研究センターを設置し超領域型融合研究を展開

取組① 経営基盤の強化

- 1. アドバイザリーボードの設置（海外機関・企業の有識者含む）
- 2. Development Office の設置によるファンドレイジング
- 3. 海外拠点の活用
- 4. 国際アルumnネットワークの拡大
- 5. ネーミングライツ、不動産活用など収益事業の強化・拡大
- 6. エンダウメント投資の拡大

取組② 若手研究者 獲得・育成

- 1. 若手研究者の重点的支援
- 2. 研究時間の量と質の確保
- 3. キャリアパス支援
- 4. 博士課程学生の処遇改善
- 5. 外国人研究者・留学生支援

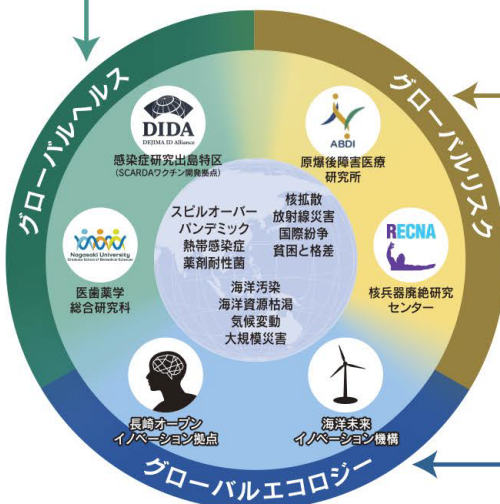
取組③ 研究支援体制の強化

- 1. URAの重点的配置・育成
- 2. 海外グラント支援部門設置
- 3. 国際化対応事務職員の増加
- 4. 共用設備の確保・技術職員の育成
- 5. 融合研究ファシリテーター教員配置
- 6. 海外リエゾン教員配置

取組④ 総合知人材育成 研究科等連係課程プラネタリーヘルス学環

第2の学位プログラム：グローバルリスク博士課程（定員5名）令和8年開始
第3の学位プログラム：グローバルエコロジー博士課程 令和11年開始に向けた準備

ヘルス・リスク・エコロジーの超領域型融合研究を推進



各領域ごとのミッションと具体的取り組み

取組⑤ パンデミック予測研究強化

感染症専門家集団に加え、データサイエンス、教育分野の人材が協働して次のパンデミックに備え、持続可能な人類社会を構築

- 1. パンデミック総合研究センター設置（施設整備事業）
- 2. 宮崎大学・鹿児島大学とのスピロオーバー研究協働チーム形成
- 3. 気候変動の健康影響研究基盤構築（JAMSTEC、東京大学大気海洋研究所との連携構築）
- 4. 国際感染症情報データ部門の設置
- 5. 感染症リテラシー部門の設置

取組⑥ グローバルリスク国際ネットワーク整備

感染症・核拡散・国際紛争・地球規模の環境変化などによりグローバルリスクが深刻化、複雑化するメカニズムを解明し、解決に資する画期的政策を世界に発信・実現

- 1. グローバルリスク研究センター本格稼働
- 2. 国際機関・海外のリスク研究所との連携協定締結
- 3. 国際会議の開催誘致
- 4. 福島未来創造支援研究センターとの協働並びに福島国際研究教育機構F-REI・福島県立医科大学・福島大学との連携強化
- 5. 鹿児島大学地域防災教育研究センターとの社会インフラレジリエンス研究推進

取組⑦ イノベーションと社会実装の加速

海洋資源・食料・エネルギー・水・炭素の循環型社会構築のための新たな発想でのイノベーションを行い、地球の健康を守る科学を推進し、社会実装を実現

- 1. 地球未来オープンリサーチセンター設置
- 2. 里海カーボンニュートラルモデル構築加速
- 3. 宮崎大学GX研究センターモデルとの協働による洋上風力・潮流・地熱・太陽光発電・蓄電・水素製造技術の連結
- 4. 宮崎大学農学部海洋生物環境科学科との共同研究
- 5. 水資源循環総合研究チームと森林緑地環境研究の融合

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）